

共著、『精神疾患の元新聞記者と発達障害の元新聞記者がお互い取材してみた。』

# 発売日を迎えました

全国書店または出版社「ロゼッタストーン」やネット通販でお求めを



精神疾患の元新聞記者と  
発達障害の元新聞記者が  
お互い取材してみた。

天地成行  
×  
大橋広宣

みなさん、おはようございます。こんにちは。またはこんばんは。天地成行です。本日、二〇二三年十一月二十三日。大橋広宣さんとの共著『精神疾患の元新聞記者と発達障害の元新聞記者がお互い取材してみた。』（ロゼッタストーン）が発売となりました。パチパチパチ。四の五の言いません。読むべき人に届いてほしいです。一冊税込みで1980円。現段階で、北海道から沖縄までの書店にも置かれます。もしお近くの書店になければ、書店にお問い合わせいただくか、発行元のロゼッタストーン（電話番号0833-15715254で送料無料郵便振替用紙同封のスタイルでの払い込み）、またはAmazon、楽天ブックスにて。

**脚本家・映画監督 足立紳氏絶賛!**

(NHK連続テレビ小説「ブギウギ」脚本・映画「100円の恋」脚本他)

「お二人の対談は爆笑しながら優しい気持ちになれる。リスペクト・トレーニングもいいけれど、この本を読めば必ずや他人と自分に優しくなれるはず! なんなら道德の教科書にしてほしい!」

ロゼッタストーン

# ロゼッタストーンの弘中百合子社長よりご挨拶

『精神疾患の元新聞記者と発達障害の元新聞記者がお互いを取材してみた。』の発行元、ロゼッタストーンの弘中です。この本の編集者です。

天地さんと大橋さんは、射手座、元新聞記者という共通点があるのですが、実は私も射手座で、元新聞記者（1年間のアルバイト経験あり）です。運命の出会いですね（笑）。射手座トリオの放った矢が誰かの心に刺さることを願っています。

元新聞記者だけあって、お二人とも文章が上手で、見出しはつけてくれるし、校正もしてくれるし、編集者にとってはラクチンな企画でした。

この本は、下記のような方にぜひとも読んでいただきたい内容です。

## 射手座トリオが放つ「矢」

① 精神疾患や発達障害など当事者の方

苛酷ないじめや仕事での挫折など、辛い経験を持つ当事者にとっては、同じような経験から立ち直り、自分らしい人生を生きている2人は、なにかしらの希望になるのではないのでしょうか。

② 当事者家族の方

自分の気持ちを表現することは、誰にとっても難しいことです。サポートしていても、当事者が何を考えているのかわからないことがあるかもしれません。新聞記者という事実を文字にする訓練をしてきた2人が語る家族への気持ちは、感謝にあふれていました。

③ 教師の方

たとえ悪気がなかったとしても、配慮のないひとことが、どんなに子どもの心を傷つけるかは、知っておいたほうがよいと思われまます。でないこの本の中の教師のように、「大人になったら復讐してやるリスト」に登録されてしまいかも知れません。

④ 上司の方

精神疾患や発達障害の人は、いまや珍しくありません。彼らが能力をフルに発揮して会社に貢献するか、あるいは仕事を諦めて退職するかには、上司の対応が大きく影響します。どんな対応をすべきかは、この本が参考になるはずですよ。

⑤ マスコミの方

発達障害や精神疾患をめぐる状況は日進月歩です。何年前に取材したから……とわかったつもりでいたら、時代に乗り遅れているかもしれません（私がそうでした！）。呼び名が変わるなど、この分野の最新常識を知って、知識をアップデートしてください。

⑥ 医療・福祉の関係者・研究者の方

少年期からの壮絶ともいえるいじめ体験と成人後にも苛まれるフラッシュバックのエピソードはまさに当事者でなければ語れない具体性とリアリティがあり、医療や福祉に携わる援助専門職から見ると極めて貴重な文献といえる。障害当事者の生活史をたどるライフヒストリー研究のイン

タビュー調査で時間をかけて聞き取らせていただくような内容が豊富に語られている。（新潟医療福祉大学大学院教授・横山豊治氏 解説より）

⑦ 「人間」「人間関係」に関する方

障害者と健常者の違いってなんなんだろう……、人間は何に救われ、何に傷つくんだろう……、といった人間や人間関係に関心がある方には、とても興味深い内容です。

もちろん、上記にあてはまらない人が読んでも、十分面白いと思います。天地さんのお知り合いは、「世界中探してもどこにもこれまでなかった、誰もが初めて出会う光を放つ隕石！」のような一冊」と褒めてくださったそうです。長年本は発行してきましたが、隕石レベルに褒められた経験はありません。少なくとも一人の心には確実に刺さったのだと、嬉しく思っています。

射手座トリオの次の矢は、あなたを狙っているかもしれませんよ。（株式会社ロゼッタストーン 弘中百合子）





# 対談本発売にあたって 大橋広宣さん

「共感」「希望」の確信アリ

で、どう感じようが、それは皆様の自由なのですが、とにもかくにも多くの方の手元に行き渡りますよう、「みんつど」の読者の方にお願いとPRをして、私のご挨拶とさせていただきます。(大橋広宣)

「面白い」と言うか「？」と思う方もいるかもですが、本当に「面白い」のです。それは、天地さんと僕の体験が、かなり破天荒で、思わず「笑えちやう」からかもです。ですが、そんな体験の裏にある「しんどさ」「つらさ」「どうしようもなさ」もしつかりと書き込んでるので、きつと、本を手取る皆様方にとつても何がしかの「共感」や「希望」になってくれる本になっている、と確信しています。

「精神疾患」「発達障害」を扱っていて「面白い」と言うか「？」と思う方もいるかもですが、本当に「面白い」のです。それは、天地さんと僕の体験が、かなり破天荒で、思わず「笑えちやう」からかもです。ですが、そんな体験の裏にある「しんどさ」「つらさ」「どうしようもなさ」もしつかりと書き込んでるので、きつと、本を手取る皆様方にとつても何がしかの「共感」や「希望」になってくれる本になっている、と確信しています。

全米

が泣いた！

ことはあり

ませんが(笑)

「精神疾患の元新

聞記者とお互いを取材

してみた。」構想・執筆3年、

ついに堂々公開・完成です！

この本は不思議な本です。何度

も読めます。そして何度読んでも面白

いです。

「精神疾患」「発達障害」を扱っていて

「面白い」と言うか「？」と思う方もいるかも

ですが、本当に「面白い」のです。

それは、天地さんと僕の体験が、かなり破天荒で、

思わず「笑えちやう」からかもです。ですが、そんな体

験の裏にある「しんどさ」「つらさ」「どうしようもなさ」

もしつかりと書き込んでるので、きつと、本を手取る皆様

方にとつても何がしかの「共感」や「希望」になってくれる本になっ

ている、と確信しています。

まあ、映画も本も、発売したあとは全て「観客」「読者」のものなの

で、どう感じようが、それは皆様の自由なのですが、とにもかくにも多くの

方の手元に行き渡りますよう、「みんつど」の読者の方にお願いとPRをして、

私のご挨拶とさせていただきます。(大橋広宣)

「エピソードに  
「トゲ」がない

世界中探してもどこ

にもこれまでなかった、

誰もが初めて出会う光

を放つ隕石！ のよう

な一冊。

この社会で生きる全

ての人にとつて、この

本が誕生して世に出た

ことがとても尊く貴重

なこと。この社会で生

きるあらゆる立場の人、

世の中に大きく貢献す

る一冊。

天地さんと大橋さん

がお互いを尊敬尊重し

あっていることがすこ

く伝わってくる、会話

のやり取りが常にお互

いを認め合って受けと

め合いながら展開して

いる。登場する人の話

は感謝の思いの話であ

ふれている。どのエピ

ソードもトゲがない！

40代女性の感想

# あとは 神のみ ぞ知る



みぞじは  
「わしの  
みぞじ」



## みんつど37号

～対談本発売ふんがふんが号

編集：天地成行

原稿、写真、イラストなど  
tenchi2020@outlook.jp  
(天地成行) までお願いします

ありのままの  
わたしが一番ヨ



楽描きイラストレーター  
の金光光雄さん



やりたい放題  
デスネ